

かぶれ菜

1, 解説

本種は、中通り北中部を中心に栽培が見られる西洋アブラナ (*B.naps*)の仲間で「茎立菜」の名称で親まれている。

県内在来の茎立菜の中では、早生の品種で、播種、出芽後5~3℃の低温で、30日冷蔵処理する事により抽苔が促進される低温感応がある。

種子の色は黒く、西洋アブラナの特徴を示す。

葉の形状は倒卵形で葉縁に切込み鋸歯が見られる。側枝は、葉4~6枚展開時に収穫すると花蕾が先端部まで発達する。

秋から冬期間は葉を利用し、春先は抽台した花茎を利用する。

2, 写真



子葉



本葉4枚程度展葉時の草姿



本葉7葉期の姿



抽台開始期の姿



本葉



花茎（収穫物）



花茎を分解したところ

3, 遺伝資源の栽培および保存状況

- ・種子は福島市の（有）今川屋種苗店において販売されている。